

てくてく図書館だより

2017年11月号

みなさんはこの秋、どんな本を読みましたか？読書週間（毎年10月27日～11月9日）は終わりましたが、本はいつ読んでも楽しいもの。「何か読みたい！」と思ったら、ぜひ図書館に！

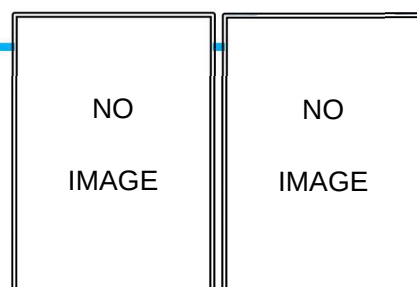


【長谷文庫生徒セレクション】ますます増えています

最近、【長谷文庫生徒セレクション】が充実してきました。もちろん、7月にみなさんから募集した本も並んでいます。

シリーズものでは、次のようなラインナップが入りました。

『ダンジョンに出会いを求めるのは間違っているだろうか』
『Re：ゼロから始める異世界生活』
『やはり俺の青春ラブコメはまちがっている』
『しゃばけ』



部活に関連した本では、こんな本が！

『吹奏楽部あるある』（1巻～3巻）
『はじめての油絵 ステップ&テクニック』『油彩で描く すぐに役立つ技法と効果』

また、草野たきさんの『リリース』や、森見登美彦さんの『有頂天家族』の文庫版といった小説などのほか、『アートギャラリー テーマで見る世界の名画』や『少年少女日本の歴史』といった授業にも役立つものまで幅広く集まりました。ぜひ読みにきてくださいね！

「この本を読みたい！」というリクエストは、いつでも受け付けています。遠慮なく言ってください。
12月にはみなさんが店頭で図書館の本を選ぶ“店頭選書ツアー”を開催します。



ふらっと Library 図書館で新しいことを見つけよう！

本を読んでいて、素敵だと思った言葉や登場人物のセリフってありませんか？今回は「図書委員が選ぶ「私のおススメの1冊 この本このフレーズ」」を紹介します。今回は第1弾！

NO

IMAGE

「ウシガエルが崖をのぼってきた」『カエルの楽園』（百田尚樹）より

ウシガエルが何かを登ることをあまりイメージできていなかったなので、すごいと思いました。

NO

IMAGE

「中学生のとき、ウルトラマンの身長 40 メートル、体重 3 万 5000 トンという体格は、身長に比べて体重が重すぎるのではないかという話になった」『なぜ僕は理科が好きになったのだろう？』（柳田理科雄）より

空想で科学を追及するという姿勢がとてもおもしろいです。ちなみに、密度を計算するとウルトラマンはこの宇宙には存在しない物質で構成されているという結果になります。

NO

IMAGE

「俺も、そうめんくらいのほうがいいように思っていたところなんだ」

『A X（アックス）』（伊坂幸太郎）より

「兜」は腕利きの殺し屋であり恐妻家。ふたつの顔のギャップが面白く、応援したくなるキャラクターでした。このフレーズは、妻が提案した夕飯に、自分の意見は口にせず賛成している場面です。

NO

IMAGE

「To be or not to be, that is the question」

『ハムレット』（シェイクスピア）より

日本語訳では「生きるべきか死ぬべきか、それが問題だ」が主流だが、原文のままだと日常生活等にも当てはまると思うから。

NO

IMAGE

「野球でも何でも吸収力が一番あるときに、一番美味しい水を与えることが重要。一番最初の水が良くないと、ご飯は美味しくならない」

『怪物と闘った PL のエース』（上重聡）より

何をやるにしても基本が大事だということに改めて思わされた。初心になってやろうと思った。

NO

IMAGE

「どんなときにも、勝利を、信じろ」『陸王』（池井戸潤）より

多くの困難を乗り越えてきた主人公にしか言えない言葉だと思ったから。

NO

IMAGE

「走って、走って、全速力で前のめりに行けば、いつか雲の立ち上がる場所にまで、行き着く事が出来るかもしれないではないか」『若様組まいる』（畠中恵）より

必死に挑めば難しい目標にもたどり着けるかもしれないという考えが前向きですごいと思ったから。